

第2回和歌山県医療対策協議会の協議について

【第2回協議会の主旨】

令和3年度専攻医募集において、国が定めた「地域枠」に該当する県立医科大学県民医療枠医師についても、シーリング枠外での採用が可能となりました。

そこで、令和3年度専攻医募集における地域枠医師の取扱方針を決定するための協議をお願いします。

【前回の協議会からの動きと第2回協議会開催の経緯】

- 令和2年9月1日に開催いたしました第1回和歌山県医療対策協議会での意見を踏まえ、9月3日付けで本県から厚生労働省に対し、「医師法第16条の10の規定に基づく専門研修に関する和歌山県の意見」（参考資料1）を提出いたしました。
- 本県としては、国が定めた「地域枠」の定義を満たす医師については、専門研修プログラムの募集定員外での採用を可能とする旨、意見しています。（参考資料1のI-2-①）
- 各都道府県から提出された意見を集約し、令和2年9月17日付けで厚生労働省から日本専門医機構に対し意見書が提出され、日本専門医機構からは、10月6日付けの通知で、令和3年度専攻医募集においてシーリングの枠外とする対象者の要件が示されました。（参考資料2の（3））
- 通知において、国が定めた「地域枠」の定義に準じた要件を満たし、地域医療対策協議会の了承が得られた地域枠医師については、シーリングの枠外として採用可能とされました。（参考資料2の（3）③）
- これにより、令和3年度開始の専門研修プログラムから、自治医科大学、県立医科大学地域医療枠、近畿大学和歌山県地域枠の医師に加え、修学資金の貸与がないが「地域枠」の要件を満たす県立医科大学県民医療枠についても、シーリングの枠外で採用できることとなりました。
- そこで、第2回協議会では、令和3年度の専攻医募集における地域枠医師の取扱いについて、協議会としての方針を決定するため、各委員のご意見をお伺いします。

【協議の進め方】

- 資料「令和3年度専攻医募集における地域枠医師の取扱いについて」の内容をご確認いただき、対応方針（案）に係るご意見を別添「令和2年度第2回和歌山県医療対策協議会における意見書」に記載のうえご提出下さい。
- 今回お伺いしたご意見を集約し、会長と相談の上、「令和3年度専攻医募集における地域枠医師の取扱い方針」について決定いたします。